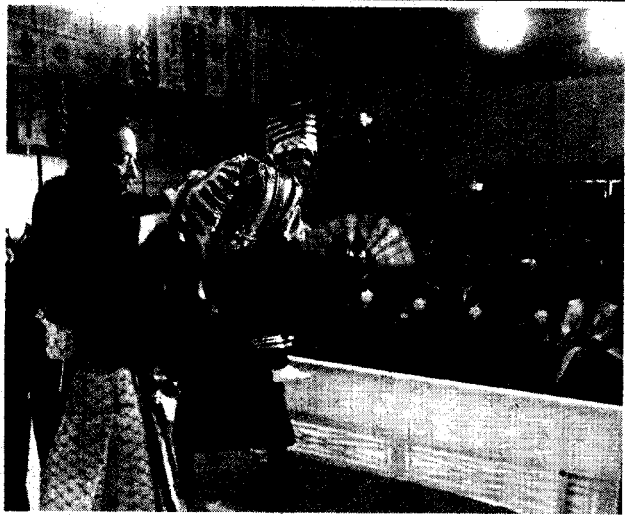


事業拡大の可能性探る

海外13カ国
130人も参加

WUB世界大会開幕

大阪



「文楽」の舞台上で華やかに幕開けした第9回WUB世界大会関西2005。7日午前、大阪市中央区のスィスホテル南海大阪

【大阪市で高江洲洋子】国内外から県系の事業者らが集う第九回WUB（ワールドワイド・ウチナンチュ・ビジネス・アソシエーション）世界大会関西二〇〇五（WUBインターナショナル主催、WUB関西主管）が七日午前、大阪市中央区のスィスホテル南海大阪で開幕した。大会には海外十三カ国、十六支部から県系の経営者ら百三十人が参加。国内のWUB会員を交え、相互交流の促進による事業拡大の可能性を探った。

約二百人が出席した開る「とあいさつした。会式は、国の重要無形文化財に指定されている文楽の舞台上で華やかに幕開け。WUBインターナショナルの呉屋守将会長が「ハワイで生まれたWUBネットワークが沖縄を母として成長し、これからは大きな県人社会を抱える南米を中心にさらに発展する」と期待している懸け橋になるものと確信する」と激励した。県からは稲嶺恵一知事の代理で嘉数昇明副知事

が出席し「WUBはアルゼンチンでワインを販売、ロサンゼルスでは独自の店舗を開店させるなど国際ビジネスの輪を着実に広げている」と功績をたたえた。

宮城重二教授が「沖縄の長寿と26シヨック」、洋菓子メーカー・エーデルワイスの比屋根毅会長が「お菓子一筋五十年の歩み」の演題でそれぞれ講演した。

引き続き女子栄養大の宮城教授は、沖縄の長

寿の秘けつが豚肉、豆腐、海藻をバランスよく摂取する伝統的な食生活にあると指摘。最近、叫ばれている長寿の危機の背景には食生活の変化があるとし「若い世代を中心に昆布の摂取量が減っ

てきている。塩分を取りすぎる人の指導も必要だ」と警鐘を鳴らした。

2005年(平成17年)

4月7日木曜日

報
刊

発行所 琉球新報社
郵便番号 〒900-8525
那覇市天久905番地
私書箱 〒900-8656
那覇市中央郵便局私書箱15号
©琉球新報社2005年